

平成28・29年度 諏訪二葉高校 富士見支部総会参加報告

9月2日（土）、白樺の美しい富士見コミュニティプラザ、椅子が扇形の階段状になったミニシアターのような会場で、平成28・29年度諏訪二葉高校富士見支部総会が行われました。

開始時間1時30分という設定で、約50名の会員の皆様が集まる中、小池良彦校長先生と副会長小林真里枝・同小林佐江で参加いたしました。

支部挨拶

支部長小池幸子さんのお話は、「同窓会の活動を行ってよかったこと」と始まりました。

懐かしい母校に通え、現生徒の元気な挨拶に出会えたこと、ロビーコンサートで心と体に安らぎを得たこと、バス旅行で役員さんとも知り合えて楽しいお話ができたこと等、「今、同窓会の活動をしてとてもよかったと思います。」とお話を結んでいただきました。

学校挨拶

小池良彦校長先生より、進学状況や沿革の説明の後、新聞に掲載されました『防災フォーラム』や『Iプロジェクトでキャリア教育』等、生徒たちの様子を具体的に紹介して頂きました。「同窓生が築き上げてくださった“物事に対して真摯に取り組む気風”が受け継がれ、今求められる“得た知識や理解を外に出て使う教育の力”が育まれていることをお話ししていただきました。

来年度「総文祭」が実施され、「自然科学部門」と「家庭科部門」が諏訪で行われることを教えていただきました。

講演 長野県副知事 中島恵理氏

「女性が切り開く信州の持続可能な未来」

中島恵理副知事が、富士見に移住したのは15年前だそうです。暮らしのご様子やご家庭との両立についてのプライベートなお話を交え、長野県女性の活躍する姿や県内の現状や今後の課題等、グラフ・写真を駆使し、分かりやすくお話していただきました。

副知事中島恵理氏は、詳細で内容の濃い資料の最後に、大文字太字で「人口減少社会における持続可能な未来づくりのために長野県の女性の活力で住みやすい長野県づくりを一緒に始めませんか」と語り掛けていました。会場の多くの女性が心に噛みしめ、励まされたことでしょう。

同窓会挨拶

富士見創造の森天空の遊覧カートのエピソードを紹介した後、地域単位での同窓会活動の難しさの中工夫して支部総会を開いてくださった富士見支部の役員の方々や、時間をつくって参加していただいた会員の皆様にお礼を申し上げました。

創立110周年、県立移管して100年目、初代校長岩垂今朝吉先生の100回忌という節目の年に向け、120年へつなげるべく様々な活動をした中で、今年の主な事業をご報告させていただき、リニューアルしたHPを閲覧していただけますようお願いいたしました。

講演後、議事が執り行われました。（1）平成28・29年度事業報告（2）平成28・29年度会計報告とスムーズに短時間で終了し、皆様会場を後にいたしました。

小林 佐江記

